

ラストワンマイルパートナーズ

短期リース提供

3カ月から 担い手不足解消へ

D&Dグループのラストワンマイル・パートナーズ

(菊池正寛社長、東京都中央区)は、軽貨物自動車のリース事業を通じてドライバー不足解消を支援する取り組みを強化する。リース期間は個人事業主と法人のいずれも3〜5年程度が通常だったが、まずは首都圏の1都3県を対象に3カ月の短期リースを2月から提供開始。これによりドライバーが宅配の仕事に就きやすい環境を整える。

特に個人事業主が軽貨物自動車による宅配事業を手

掛けようと思いついた時、車両のリース期間が長期だとリスクを考えると断念するケースが少なくないとみられる。ドライバー不足の深刻化が予想されている中、3カ月の短期リースを用意することで新たな担い手を宅配業界に呼び込む。

同社では独自の審査基準を設けており、与信通過率は大手のリース会社より高いという。状態の良い車両を提供することもセールスポイントに挙げる。

料金は1台につき1カ月当たり3万8500円(税込み)から。当初は月間で

10〜15台の契約を目指す。将来的にはサービス提供エリアを広げていく構想だ。このほか、ラインアップに冷凍冷蔵車や幌車(ほろま)を加えることも検討していく。

リース営業課の堤口裕介氏は「仕事が長続きしない理由を『イメージより稼げない』と話すドライバーが多い。リスクを減らさないとラストワンマイルの担い手はどんどん減っていく。これからも軽貨物ドライバーを支えていきたい」と話している。

(沢田顕嗣)